

アクセルスペース、 防災科学技術研究所が進める小型光学衛星の 災害時活用フロー確立に向けた実証支援業務を受託

株式会社アクセルスペース（本社：東京都中央区、代表取締役：中村友哉）は、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」）が進める小型光学衛星の災害時活用フロー確立に向けた実証支援業務を受託し、自社が展開する全地球観測プラットフォーム「AxelGlobe（アクセルグローブ）」で取得する衛星データが活用されることとなりましたのでお知らせ致します。

「[AxelGlobe](#)」は、世界のあらゆる地域を高頻度で観測できる次世代光学地球観測プラットフォームです。現在は衛星5機体制で、同一地点を2～3日に一度観測し、地上分解能2.5mの画像提供することができます。2023年までには10機体制を実現し、世界の毎日観測を可能にする予定です。衛星が撮影する画像は、作物の生育管理や収穫適期予測等の精密農業、都市計画や経済動向把握、災害対応への利用のほか、with コロナ時代のサプライチェーンのリモート監視、SDGsへの貢献やESG対応のための環境モニタリングといった活用が注目されています。

アクセルスペースは、当該実証実験を通じて、災害領域におけるAxelGlobeデータの活用促進やソリューション開発を進め、国内外の災害に対して防災・減災の側面から寄与することを目指します。

受託内容

- ・ 防災科研が開発している統合システムを活用した災害時における小型光学衛星の緊急観測依頼から観測データ提供までの運用フローについて、小型光学衛星の運用者の観点から検討・整理する
- ・ 検討した運用フローに基づき実際に緊急観測を実施し、統合システムに対して観測データを提供する実証実験を行う

契約期間

- ・ 2022年3月25日まで

株式会社アクセルスペース 会社概要

所在地：東京都中央区日本橋本町三丁目3番3号 Clip ニホンバシビル

代表者：代表取締役 中村 友哉（なかむら ゆうや）

AXELSPACE

設立：2008年8月8日

資本金等の額：7,122百万円（資本準備金を含む）

主な事業内容：超小型衛星による地球観測事業、超小型衛星等を活用したソリューションの提案、超小型衛星及び関連コンポーネントの設計及び製造、超小型衛星の打ち上げアレンジメント及び運用支援・受託

URL：<https://www.axelspace.com>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社アクセルスペース 担当：生本 pr@axelspace.com